

矢作川利用調整協議会第八回

【日時】2019年8月23日13:30~15:30

【場所】豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

【出席者】

[委員]

豊田市副市長 磯谷裕司

豊田商工会議所 小栗保宏

豊田市商業連合協同組合 吉村達也

豊田まちづくり株式会社 生駒みどり

崇化館地区区長会 深津澄男

高橋地区区長会 今井尚

美里地区区長会 成田和也

株式会社豊田スタジアム 塚本誠

NPO 法人矢作川森林塾 碓伸夫

一般社団法人ツーリズムとよた 成瀬剛史（代理）

豊田市建設部長 岡本哲志

豊田市都市整備部長 栗本光太郎

[アドバイザー]

熊本大学大学院 准教授 星野裕司

[オブザーバー]

豊橋河川事務所長 小林賢次

事務局

豊田市公園緑地整備課 甲村、米田、國分、下川、鈴木

豊田市河川課 中川、村田

日建設計シビル 大藪、黒田

【議事内容】

1. 開会挨拶（磯谷副市長）

前回の利用調整協議会は今年 3 月に開催いたしました。本来であればもっと早い時期に本協議会を開催したかったのですが、遅れて申し訳なく思います。

平成 29 年から河川空間のハードとソフトの取組を皆さんの議論を経て進めて参りました。矢作川右岸については、豊橋河川事務所と協働で環境整備を行いました。また、この間、さまざまな実証をさせていただき、皆様からさまざまな意見も頂いています。今回の議題は、環境整備の状況やラグビーワールドカップでの取組、キャンプフィールドの実証などです。本日も忌憚のない意見をいただければと思います。

2. 議事内容

（1）矢作川利用調整協議会規約の変更について

事務局（資料 1）の内容説明

意見交換

・特になし。

（2）令和元年度 矢作川水辺プロジェクトの取組状況について

事務局（資料 2）の内容説明

（3）白浜公園再整備について

事務局（資料 3）の内容説明

意見交換

・特になし。

（4）RWC2019 開催期間中の取組について（矢作川フェスタ）

事務局（資料 4）の内容説明

意見交換

・ 2 点質問がある。ラグビーワールドカップ側が河川敷まで使うことはないか。

ラグビーワールドカップとどう関係していくのか。

白浜公園の橋詰空間のワールドカップ時の取組はモノを置くだけか。それとも人もいるようにすることを目指すのか。(星野准教授)

- ・ラグビーワールドカップ側が河川敷を使うことはない。都心を含めたおもてなしの一部となる。
また、都心緑化の一環としての取組であり、試合当日は職員が誘導などを行う。それ以外の日については、モノを置いておくだけになる。(事務局)
- ・矢作川フェスタは、ユニークな取組を考えているが、調整準備も大変かと思う。ラグビーワールドカップのメイン会場は豊田スタジアムとなる。別に、ファンゾーンをスカイホールに設けている。ファンゾーンはさまざまな人がフリーに出入りできる。それに加えて、豊田市独自で豊田市停車場線沿いに、駅前からスタジアムにかけて賑わいづくりをおこなっていく。参合館、能楽堂や公共空間を使って、日本文化の発信を行う。(磯谷副市長)
- ・これらに関する経費について教えてほしい。(吉村委員)
- ・ラグビーワールドカップ側の制限がかなり厳しいと皆さんお聞きかと思う。スタジアムから半径 500 メートルの範囲はクリーンゾーンであり営業行為等の制限がかかる。これまでの実証実験は事業者が手弁当でやっていたが、今回はクリーンゾーン内での行為となり営業行為が難しく、実行委員会形式としている。経費として当初予算約 2,000 万円を計上している。(事務局)
- ・地元の方々は、様々な立場で参加協力している。ワールドカップに来る外国人のビールの飲み方がすごいらしい。また、豊田市には禁煙条例もある。白浜公園を含めた、飲酒・喫煙に対して、ラグビーワールドカップ時に市がどのような指導・考えをしているのかを聞きたい。(深津委員)
- ・白浜公園や千石公園といった河川敷は都市公園である。ラグビーワールドカップ時も、禁止事項ではないが、都市公園条例に則った使い方をしてもらいたい。飲酒・喫煙についても禁止事項ではないが、日常と同様、節度のある使い方をしてもらいたい。(事務局)
- ・スタジアムから半径 500m の範囲内はクリーンゾーンであるが、外から何かを買って飲食をするのは問題ない。都心も含めたおもてなしが重要である。(磯谷副市長)

(5) キャンプフィールド実証取組について【提案】

事務局（資料5）の内容説明

意見交換

- ・ 2点確認したい。事務局の言うとおりに、河川敷特有の制限があるなかで、これまでやってきた従来型イベントキャンプは占有をとっているのか。今回のキャンプは占有をとるのか。また、今回の実証の実施主体はどこなのか。（小栗委員）
- ・ 占有に関しては、前もって豊橋河川事務所岡崎出張所に相談しており、今回のキャンプは占有申請を出すこととなる。また、従来型イベントに伴うキャンプ行為も占有をとっている。実施主体は市である。（事務局）
- ・ 今年、鞍ヶ池公園でもキャンプ実証を行っており、今回、白浜公園でも実証をやるということだが、去年、川田公園でもやったはずである。市の取組として今後様々な場所でキャンプフィールドを展開していきたいのか。また、鞍ヶ池公園の実証結果はどうだったか。（生駒委員）
- ・ 鞍ヶ池公園では8月4、10～18日にキャンプフィールド実証実験を行った。鞍ヶ池の民活検討の一環でキャンプというコンテンツの可能性があるかを検証した。最初はモニターを呼んで実施した。4区画から募集を始めていたが、その後すぐに人気が出てきて、5区画となった。モニター利用者へのアンケートや意見交換を行い、基本的には良い傾向のご意見をいただいた。鞍ヶ池公園は高速利用者などハイウェイオアシスとの連携がある。
白浜公園については都心に近い場所でのキャンプニーズもあるのではないかとということで実証を行う。収益性においては、結果を踏まえ今後検討していく。結果はこの場でご報告をしていく。（事務局）
- ・ キャンプフィールドを市内全体で展開していくということは考えていない。鞍ヶ池公園は民活検討の一環である。実際にやってみると、家族づれの方のニーズが多く、すぐに埋まった。手ぶらキャンプのニーズはとても高い。大変人気があった。キャンプフィールドの展開を、どういう形や仕組みでやっていくかはこれからの検討になる。
白浜公園は、過年度からのニーズ調査のなかでバーベキューやキャンプのニーズがあり、それを受けて実証を行う。今後、手をあげる事業者さんがいれば具体的に進んでいく。（磯谷副市長）
- ・ 手持ち資料がないため、詳細は説明できないが、川田公園における実証では手ぶらキャンプとフリーサイトの人気があったと検証できた。（事務局）
- ・ ラグビーワールドカップの観戦に来る外国の方がキャンピングカーをレンタ

ルしてキャンプを楽しむという TV をみた。豊田市は車の街でもあるので、キャンピングカーで泊まることができるというもの売りになるのではないか。

(生駒委員)

- ・ご指摘の通り、キャンピングカーで河川敷に入り、駐車場を利用するということに対して、検討をしておく必要がある。(事務局)
- ・モニター形式だが、料金設定はどれくらいなのか。有料の場合はどれくらいの想定か。(吉村委員)
- ・料金をとることは考えているが、具体的な設定は現時点で未定である。鞍ヶ池公園の実証がひとつの目安となる。鞍ヶ池公園での料金設定は、A 区画が 8,000 円、E 区画が 6,000 円、あとは 5,000 円、4,000 円などテントの質等で決めている。(事務局)
- ・キャンピングカーの利用は多いのではないか。
また、白浜公園のキャンプ実証期間である 19、20 日には挙母まつりが開催される。チラシの配布など、キャンプの取組とも連携していきたい。(深津委員)
- ・モニター形式とのことだが、広く一般のキャンプニーズをどう探っていくのかということも大事である。ベテランキャンパーにも、白浜公園のポテンシャルやキャンプ可能性について、モニタリングするという必要もある。(塚本委員)

(6) 事業者選定公募の進捗状況について

事務局(資料6)の内容説明

意見交換

- ・特になし。

(7) 千石公園再整備案の検討状況について

事務局(資料7)の内容説明

意見交換

- ・豊田スタジアムで産業フェスタが開催される。イベントの時の来場についてはシャトルバスなどでさばく予定であるが、スタッフの駐車場が足りない。ビックイベントになれば、それなりのスタッフ用駐車場が必要である。これ

までは豊田大橋の下と下流部を駐車場利用として占用をとってきた。駐車場利用ができなくなるとは思っていないが、イベント開催時の占用許可について、今と変わらないという理解でよいか。(塚本委員)

- ・考えに変わりはないが、全面的にスタジアムの駐車場であるという考えのもと豊田大橋下に常設駐車場を作るようなことはしない。様々なイベントや日常利用の方々と利用調整のなかで運用していきたい。(事務局)

- ・PRでもあるが、産業フェスタが開催される。新しいモビリティの試乗体験やラグビー関連の催しもある。ぜひお越しく下さい。

また、産業フェスタでは、千石公園を出店者の駐車場にと占用申請を出したが、8月上旬頃に、大橋下の駐車場利用はまかりならんという公園緑地管理課からの回答であった。そのため、急遽豊田大橋下にコーンを置くなどし、豊田大橋下を駐車場利用しないように誘導を検討している。どういう経緯でそういう形になったのか、課題があったのか。先ほど従来と同様と言われたが、大橋の下は使えないと明確に聞いている。(小栗委員)

- ・許可を出しているのは公園緑地管理課だが、なぜそういうやり取りのもとそのような回答となったのかは、申し訳ないが現時点で把握していない。

都市公園において駐車場利用が前提というのではない。臨時的な大きなイベントでは利用調整のなかでやっている。そのバランスの話かと思っている。大橋下に限定するのではなく、下流側のエリアで出店者が駐車場利用をするのはどうかという話や、千石公園でイベントをやっている場合は、雨天時の退避エリアを確保する必要があり、利用調整のなかで大橋下の利用ではなく別の場所をお願いすることになる。(事務局)

- ・公園緑地整備課と協議した内容だと、公園緑地管理課から聞いている。豊田大橋下は駐車場利用しない方針であるなら、経緯と理由をしっかりと説明してほしい。(小栗委員)

- ・経緯を調べてご報告を行う。(事務局)

- ・白浜公園の整備完了の様子は、おいでん祭り時に見た。アスファルト舗装の駐車場だったが、あれでよいのか。芝生等の公園らしい駐車場にしたほうがよいのではないか。(生駒委員)

- ・駐車場については、雨が降ったあとに使いづらいという意見がこれまでにあった。そのため主要な部分はアスファルト舗装としたが、一部はフレキシブルに使えるように、芝生の上に保護マットを敷設した臨時駐車場も設けている。利用者の使い勝手も含めて決めている。(事務局)

(8) その他について

事務局（河川課資料）の内容説明

矢作川水辺プロジェクト 河川関連事業の取組状況報告

意見交換

・特になし

・予定した議事は以上である。星野先生、豊橋河川事務所長からひと言頂き、閉会としたい。（磯谷副市長）

3. アドバイザー 星野准教授より

平成 29 年から関わらせていただいて、今回、白浜公園も整備完了し、次のステップの議論になっているのはとても良い。

2 点ほど要望がある。川なので一番大事なのは水際である。例えば、キャンプ実証では、テントの配置を工夫することで、だれもが水際にアクセスしやすい空間とすると良い。河川課の河川整備についても、千石公園の河畔林ゾーンと連携していけると良い。

4. オブザーバー 豊橋河川事務所長より

地域の人たちがどう使っていくのかというのが、かわまちづくり計画の重要な動機となる。豊田市の案件は、川側から、まち側からの両方のアプローチができていて素晴らしい。40 万人都市でこれほど取り組んでいる事例は全国的にも珍しく、我々も非常に注目している。私たちの主な仕事は治水であり、言うならばインナーマッスルをどう鍛えるかという話である。豊田市さんもその表面のところに肉付けしてもらっている。そこをうまくやっていただけるところ、我々の役割もしっかりと果たせる。